

町田市教育に関する総合的な施策の大綱(素案)の市民意見募集実施結果について

2023年10月に実施した「町田市教育に関する総合的な施策の大綱(素案)」にかかる市民意見募集について、実施結果をご報告いたします。

1 意見募集の実施概要

(1) 募集期間

2023年10月1日(日)
～2023年10月31日(火)

(2) 周知方法

広報まちだ2023年10月1日号、
市ホームページ

(3) 資料閲覧及び配布場所

市庁舎(企画政策課、広聴課、市政情報課)、各市民センター、各連絡所、男女平等推進センター、各子どもセンター、教育センター、各図書館、町田市市民文学館、生涯学習センター、市ホームページ



2 意見の内容

5名の方から10件の意見をいただきました。ご意見の概要は以下のとおりです。

ご意見の分類	ご意見
基本理念に関する意見	理念にももう少し大人に対する思いなども表記してもらえるといい。
	現行の教育大綱と比べ、基本理念に丁寧な説明があり、その大切さがよくわかった。
基本方針Ⅰに関する意見	「子どもにとって豊かな経験ができる機会を充実させる。」では、「学校以外で」と表記されているが、保護者としては学校でもそのような体験の機会を設けてほしいので、「学校に加えて」や「学校だけにとどまらず」などに変更した方がいい。

基本方針Ⅱに関する意見	「子どもが置かれた状況に関わらず、一人ひとりに応じた、学びの環境づくりを進める。」では、海外にルーツのある子どもが皆、学びの機会を十分に得られない状況にあるような書き方に違和感がある。
	地域や民間などの力を導入して、教員の負担を軽減するような学校運営をしてもらいたい。
	新たな学校づくりについては、その学校の生徒や親、先生たちだけの学校ではなく、もっと地域の人たちに開かれた学校にして欲しい。 地域の声も聞きながら進めて欲しい。
基本方針Ⅲに関する意見	「家庭・学校・地域などが」とあるが、方針名が「地域ぐるみで」なので、「地域・学校・家庭などが」と表現した方が、方針に沿っていると考える。
基本方針Ⅳに関する意見	全体的に子どもにかかわることが中心に書かれている中、最後に生涯学習のことが取ってつけたようにでてくるので、少し雑な印象を受ける。
その他	大綱に市のいじめ防止に対する考え方を示し、いじめをなくしてもらいたい。
	「重点事業21 帰国・外国籍児童生徒等への日本語指導の充実」に対して、教育委員会は、日本語学級の拠点校を小学校に1校作ってほしい。 また、日本語指導・支援が必要な帰国・外国籍児童生徒に、その指導・支援が公平に保障されるよう、各学校に町田市の指導・支援体制について周知徹底してほしい。

3 今後のスケジュール (予定)

2024年2月16日	2023年度第2回町田市総合教育会議
2024年2月下旬	大綱の策定